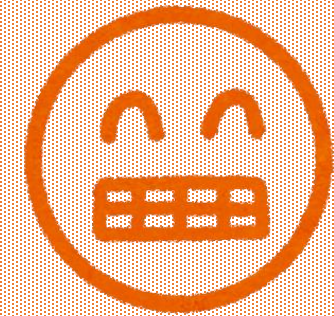


# 六郷助けあいプラットフォーム

話し合いの場



令和元年7月2日（火）

# 本日のタイムスケジュール

時間	内容
18：30	前回の振り返りと今回の流れの説明
18：45	話し合い①【目標の報告と設定】
19：15	多世代交流の場のしくみ【六郷ハートボックス】
19：30	休憩
19：40	話し合い②【多世代交流の場のしくみ】
20：10	話し合いのまとめ
20：30	終了

# 月1回の集まりの2時間を有効的にしたい 来年度の進め方の提案

- ・今度こんなイベントに参加してみる
- ・子どもに聞いたらこんなことが分かった
- ・今度こういう企画やってみようと思ってる。

## 18：30 「第1部」

現在の課題となっている子どもの実態把握と顔の見える関係づくり（交流の場の創出）の情報共有と次回までの行動目標について話し合う。

## 19：30～45 「第2部」（必要に応じて実施）

- ① 「取り上げたいテーマ」をあらかじめ募集して話し合う。
- ② 勉強したいテーマについて学び合う。

20：30

# プラットフォームでの効果とねらい

時間経過



予防的取り組み

学習塾  
トレーニングジム  
お祭り

子ども食堂  
サロン活動  
多世代交流

日本語教室



制度等による支援

児童館

見守り活動

放課後等デイサービス

子ども家庭支援センター

地域包括支援センター



児童相談所

福祉事務所



もちろん社協も同じ参加者として  
一緒に行動目標を立てますし  
事業立ち上げなどの応援もします。

- 実態の共有
- 課題分析と整理
- 地域で出来ることの検討
- 連携して取り組めることの検討
- 行動目標を立てる
- 理解を深める

共有

六郷助けあい  
プラットフォーム

参加者の  
行動

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援

# プラットフォームでの効果とねらい

六郷の子どもたちが（住民が）安心して暮らせるために

参加者の  
行動

共有

- 実態の共有
- 課題分析と整理
- 地域で出来ることの検討
- 連携して取り組めることの検討
- 行動目標を立てる
- 理解を深める

行動

行動

行動

行動

行動

共有

今はココ

口コミとつながり

六郷助けあいプラットフォーム

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援



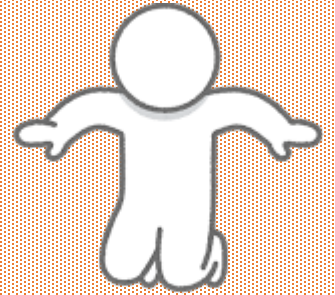
# 活動の報告・告知と共有

・月1回、報告・共有を実施することで

- ①お互いの活動内容を共有
- ②活動から見えた地域の課題を把握・共有
- ③報告の場があることで把握力アップ

地域の  
課題対応力  
UP!

☆早期発見



# 前回の報告

- プラットフォームの広報をした。
- 駄菓子屋実施 (5/12) 172名参加。交通安全イベントとコラボ
- 紙芝居 (月5回) 実施
- ジュニアリーダー講習会実施
- 六郷ボランティア総会実施



# 前回の目標①

- ・南六郷団地のラーメン子ども食堂を見学  
→運動会後の子どもたちが来ていた。
- ・青少対の活動(イベント・お祭り)を実施した。
- ・スポーツ推進員研修に出席  
→子どもも高齢者も楽しめる「ピック・ボール」を初めて聞いた。
- ・ぷらっと食堂に参加。他の活動にも行きたいと思う。
- ・プラットフォームを広げていきたい。
- ・ポッチャ教室の審判講習が無料で受けられる
- ・子どもの事例検討会議に出席、放課後こども教室連絡会参加



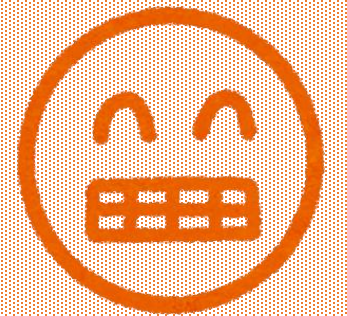


# 前回の目標②

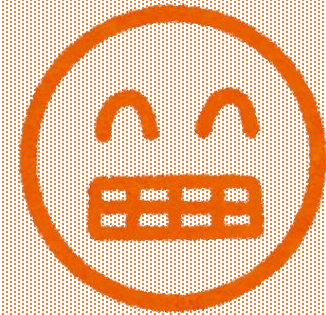
- ・放課後子ども教室連絡会
- 放課後の子どもの様子、学校では見せない顔が分かる。
- ・保育園施設長会 情報収集と発信(事故や事件等)
- ・出雲保育園卒園式でいこいの家と多世代交流
- ・町会の部長会で学習支援を検討する
- ・9月にいこいの家で交流イベント実施
- ・7/14(仮)にふらっと食堂をしたい。一緒にやっていただける方募集。
- ・達人サミット、来年度大田区でやりたい(6/25準備会メンバー募集中)
- ・いこいの家で読み聞かせ。子どもを集めるアイデア募集



① 7/2までの活動報告  
と  
共有したい地域課題の芽



## ② 話し合いの場



「多世代交流の場のしくみ」



# 話し合いの内容

## 地図で状況把握



### ◎見えてきたこと

- 公園に子どもたちが多く集まっている。
- でもその公園で子どもを見守るしくみが少ない。
- その地域、世代ならではの集まる場所がある。
- 地図上だけではわからない子どもたちの実態はまだ見えない。

## 地域だからこそ出来ることとは？



### ◎見えてきたこと

- 大人が楽しそうに活動をしていることが町の良い雰囲気をつくる。
- 何か地域のためにやりたいと思っている人は結構いる。でもなかなか入るのが難しい。

## アイデアを整理

- ◎住民がSOSを出しやすく発見しやすいしくみ
- ◎地域活動に参加しやすいしくみ
- ◎まちに関心をもってもらうしくみ

上記3つのしくみを整備することが課題解決の最初の一步

しくみが整うために必要なことを考察

- 「**交流の場**」を地域住民が作ることによって**顔のみえる環境を整備**できる。
- 子どもや知り合いなど**誰かと一緒なら**参加しやすい。
- **子どものころからの関係づくり**が大事。



5/19・6/22

六郷ハートボックス



駄菓子屋さん





# 六郷ハートボックス 駄菓子屋さん

- ① 活動の概要、活動してみたの感想
- ② 活動したからこそ見えた課題
- ③ 利用者の声やニーズ
- ④ 多世代交流のための工夫
- ⑤ 今後の予定、検討していききたいこと

- **SOSが発見できる多世代交流のしくみとは？**

